

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・35	施設内防災マニュアルに沿って、日中での防災訓練を行っているが、夜間は、夜勤者のみの対応となり、高齢者の避難は時間がかかるため、地域住民の方や地域消防団の協力が必要である。現在、防災教育実践委員会に参加し地域の方の協力を呼び掛けている現状である。	地域防災会議や推進会議を活用し、施設の防災協力の体制整備と地域防災対策への施設からの参入	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間想定での防災訓練 ・地域の防災対策への参加 ・災害別マニュアルの見直し ・避難訓練地域消防団との連携体制の整備 ・近隣の住民への協力への理解 	12ヶ月
2	13・33	今後、重度化していくのは明確である。職員の技術と知識を向上し、重度化を受け止めて行く必要がある。	勉強会や研修への参加の機会を作り、職員のスキルアップをすることで、利用者がその人らしく生活できるようなケアを実践する	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会や研修へ参加 ・技術研修やケア実践研修 	12ヶ月
3	27・38	アセスメントを踏まえた個別ケアの実践は行っているが、次に活かせる記録内容が不足している為、よりよいケアに反映できるよう、記録の内容の見直しが必要である。	利用者や家族からの生活歴・生活感・趣味・馴染みなどの情報や現行のケアから感じ見出せる事をカンファレンスを通じてよりよい支援に反映していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートの見直し ・情報収集の捕捉・ケア記録の勉強会 	10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。